



炉端だよい



炉端の会
2024.02

◆金曜班、大山街道を歩く◆

「炉端の会」は活動する曜日によって火曜班～日曜班の6班に分かれています。それぞれの曜日班ではメンバー間の交流を図るために春はお花見、年末には忘年会などの催しが行われています。金曜班ではそのほかにもいろいろな散策会を行っていて、昨年の10月からは「**大山街道を歩く会**」が始まりました。

大山街道は江戸城の赤坂御門と大山を結び、古くから多くの人々の大山参りで賑わった街道です。江戸時代には、大山権現に詣でたときには新しい木刀を社に納め、その代わりに他の人が納めた木刀を貰って帰り家内安全などの護符とする習慣がありました。佐々木家を民家園に移築する際に、その木刀がオクザシキの長押から出てきたというエピソードもあります。



旧小倉家住宅にて



豪徳寺



今回の金曜班の企画では全体の約80kmを9回に分け、大山の下社を目指しています。昨年は赤坂御門を出発し、5回で三軒茶屋、二子玉川、鷺沼、長津田を経てつきみ野までを歩きました。途中、世田谷の代官屋敷や豪徳寺、下鶴間宿の旧小倉家住宅や大和市郷土民家園などを見学し、古民家関連の見聞も広めることができました。今年**1月に本厚木、愛甲石田、2月に大山ケーブル下と歩を進め、3月には大山阿夫利神社の下社に到着する予定です。**